

まちづくり交付金 事後評価シート
益子・田野地区

平成31年2月

栃木県益子町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	益子町		地区名	益子・田野地区			面積	560 ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	584百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(1路線)、高次都市施設(地域交流館)										
		提案事業	地域創造支援事業(地域交流ふれあい広場、ましこ国際工芸交流事業、駐車場整備事業)、まちづくり活動推進事業(地域プロデュース事業、地域ファンクラブ検討事業)、事業活用調査(事業効果分析調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業(駐車場整備事業)		道の駅への駐車場集約に伴い、他のエリアにおける駐車場の配置を見直したため。				なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	-		-				-				
		提案事業	地域創造支援事業(まちづくり構想に関する調査)		基幹事業との相乗効果による魅力向上など、市街地における将来のまちづくりを検討するため。				なし				
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	催事イベントの開催	人	256	H24	400	H30	2,800	3,000	○	あり なし	道の駅におけるイベントをはじめ、提案事業・関連事業のソフト事業等、地域のイベント開催が増えたことにより参加者が大幅に増加した。	-
	指標2	流動人口(観光人口)数	万人	196	H24	200	H30	258	200	○	あり なし	新たな交流拠点である道の駅ましこやアクセス環境の向上を図ったことにより、観光人口が増加した。	-
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
その他の数値指標4													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅において町のさまざまな情報を発信することで、陶芸以外のさまざまな魅力をPRし、町のイメージアップにつながった。 道の駅オープン後は多くの利用者で賑わい、田野地区においても新たな観光や交流の拠点が形成されつつある。 道の駅により防災の拠点としても活用できる施設が整備され、地域の安全・安心に暮らせる環境が確保された。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	観光入込客数の調査による「観光人口」のモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後も、適宜モニタリング同様の調査を実施し、観光人口の推移等を把握する。			
	住民参加プロセス	周知・PR活動			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後も、道の駅をはじめ町のさまざまな情報を提供しながら、活性化の拠点としての機能向上を図る。			
	持続的なまちづくり体制の構築	庁内連携による推進			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	庁内連携により、関連する事業の推進・支援等を行いながら、交流と賑わいのあるまちづくりを継続的に進める。			

